

国産濃厚飼料シンポジウム開催要領（オンライン形式）  
～ 子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けて ～

1 趣 旨

輸入原料に過度に依存した畜産から国産飼料に立脚した畜産へ転換し、我が国の飼料自給率の向上を図るため、「子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けて」をテーマとして、生産・利用の拡大に向けた課題と対応策、我が国における国産濃厚飼料をめぐる情勢及び生産部門と利用部門の連携による取組事例についてシンポジウムを行う。

2 主 催 一般社団法人日本草地畜産種子協会

3 内 容

(1) 基調講演

子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けた課題と対応策について、酪農学園大学名誉教授荒木和秋氏による基調講演を行う。

(2) 情勢報告

我が国における国産濃厚飼料をめぐる情勢について、農林水産省による情勢報告を行う。

(3) 事例紹介

当協会が刊行した「国産濃厚飼料の生産・利用に関する事例集」（令和2年3月）から、千葉県成田市で水田を活用した輪作体系による子実用トウモロコシの生産に取り組んでいる水田農業を営む農家、当該農家から子実用トウモロコシの供給を受け、茨城県稲敷市で放牧酪農に取り組んでいる酪農家による事例紹介を行う。

(4) 討論会

「子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けて」をテーマとして、子実用トウモロコシ生産・利用に取り組む際のネックと課題・解消策、取組拡大の推進策及び展望等について、講演者・事例紹介者による討論を行う。

4 参集範囲

生産者、消費者、農協、市町村、都道府県、普及・研究機関、関係団体等

5 日 時 令和3年2月5日（金）13：30～15：30

6 次 第

(1) 開 会

13:30～13:35(5)

(2) 基調講演

13:35～14:15(40)

子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けた課題と対応策について（仮題）

酪農学園大学 名誉教授 あらかき かずあき 荒木 和秋 氏

(3) 情勢報告

国産濃厚飼料をめぐる情勢について（仮題）

14:15～14:25(10)

農林水産省生産局畜産部飼料課 課長補佐（飼料生産計画班） たにぐち やすこ 谷口 康子 氏

(4) 事例紹介 14:25～15:05(20×2)

①「子実用トウモロコシの生産で作業時間の分散を図る取り組み」(仮題)

小泉ファーム(コーンカンパニーナリタ) 代表 小泉 輝夫 氏

②「放牧酪農における子実用トウモロコシ活用の取り組み」(仮題)

農事組合法人新利根協同農学塾農場 上野 裕 氏

(5) 討論会 15:05～15:30 (25)

テーマ 「子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けて」(仮題)

(パネリスト)

① 酪農学園大学 名誉教授 荒木 和秋 氏

② 農林水産省生産局畜産部飼料課 課長補佐(飼料生産計画班) 谷口 康子 氏

③ 小泉ファーム(コーンカンパニーナリタ) 代表 小泉 輝夫 氏

④ 農事組合法人新利根協同農学塾農場 上野 裕 氏

司会 岡山 史興 氏(Webメディア『70seeds』編集長)

(6) 閉会 15:30

7. 参加料:無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス(内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン)は参加者にてご用意願います。

8. 視聴方法:Zoomにて実施いたしますので、Zoomに接続できる環境をご準備ください。  
※予約締切後、マイナビ農業から参加予約者に視聴方法のご案内を行う予定です。

9. 参加申込み方法

(1) マイナビ農業サイト(URL:[https://agri.mynavi.jp/2020\\_12\\_21\\_143505/](https://agri.mynavi.jp/2020_12_21_143505/))からお申込ください。

申込期間:令和2年12月25日(金)から令和3年2月3日(水)

(2) 参加予定枠 80名程度

10. 問い合わせ先

(1) Web研修会の実施内容に関すること

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 草地畜産部 担当:伊藤雅敏  
(TEL:03-3251-6501 E-mail:itoh@souti-fsa.or.jp)

(2) Web研修会への参加方法及びWebサポートに関すること

株式会社マイナビ 農業活性事業部 担当:和田、堀越  
(TEL:03-6667-1181 E-mail:agri-webcast@mynavi.jp)